

ふれあいポケット
ひろた さち

題字 牟礼東小学校1年

2015

9/30

No.114

HUREAI POKETTO



「災害にもつよい町を目指して」

～9月1日 赤十字奉仕団が視察研修～

災害支援をはじめ住みよい地域づくりのために活動する飯綱町赤十字奉仕団は団員の知識と技術の向上を目的として視察研修を実施しました。

当日は、29名の団員が参加し、日本赤十字社創設者の一人である大給恒（おぎゅうゆずる）が建設した龍岡城五稜郭で日本赤十字社の歴史について、臼田宇宙空間観測所で防災・災害支援に係る情報通信を学びました。

参加した団員は、衛星携帯電話の仕組みを質問するなど熱心に学んでいました。

●●●主な記事●●●

- P2 飯綱町赤十字奉仕団員募集
あんしん暮らしのパートナー
フォローアップ研修
- P3 さみずの郷から、こんにちは
ボランティアコーナー
- P4 社協予定表
自然育児のススメ
いづなの福祉事業所紹介
- P5 お知らせ・募集
まちがいさがしクイズ解答
- P6 まちがいさがしクイズ
新 ささらばさら(4コママンガ)
りんごのつぶやき

飯綱町赤十字奉仕団員募集

飯綱町赤十字奉仕団では、共に活動をしていただける団員を募集しています。

赤十字奉仕団とは、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティア組織で、高齢者支援活動や児童の健全育成活動、災害救護、防災活動などを行なっています。

飯綱町の奉仕団は、救護・炊出しの2班で編成されており、防災訓練への協力や救急法などの技術普及を目的とした講師の派遣及び各種講習会の開催、被災地での炊出しなどの活動を行なっています。

団員は、現在一五〇名（救護班四六名、炊出し班一〇四名）が所属していますが、地区毎に見ると人数に大きく偏りがあります。

奉仕団活動に興味関心のあ

る方、防災・救助等の知識及び技術を習得したい方は、飯綱町社会福祉協議会 ボランティアセンター（電話253-1001）にご連絡ください。



写真上) 防災訓練でAEDの使い方を指導

写真下) 信濃町豪雪で屋根の雪下ろしを協力



認知症あんしん暮らしのパートナー フォローアップ研修が立科町で開催されました。

認知症を正しく理解し、地域で暮らす認知症の方を支援する「あんしん暮らしのパートナー」は9月3日、立科町の「健康サポーター」と交流研修を行ないました。

研修では、双方の参加者が日頃の取り組みについて活動報告により情報交換しました。

飯綱町は、「認知症の方やその家族が安心してひと息つける場所がほしい」との声を受けて今年度よりパートナーが中心となり開催しているオレンジカフェ、介護予防や地域の支え合いを目的として各地区で開催しているいきいきサロン等について、発足からの経過やそこに参加する方の声を紹介しました。続いて立科町からはレクリエーションを交えながら楽しく脳の活性化を図る頭の体操等の取り組みを今後の展望などを交え

て報告しました。

パートナーは、より住みやすい飯綱町を目指して、また飯綱町全体の問題を自分の問題として真剣に考え、活動実践していきます。研修に参加したパートナーは「続けることが大事。引き続きカフェを開催していきたい。」と、今後の活動に向かって意気込みを語っていました。



写真上) 飯綱町の活動発表の様子

写真下) グループごと意見交換を行なう



『さみずの郷から、こんにちは!!』

「今年は、一段と暑いね」とう
ちわを片手に話していたのが、お
盆を過ぎた頃から「えらい今日は
涼しいね」と一転。今年は秋の訪
れを例年よりも早く感じます。

さみずの郷では、30度を超え
る日々が続いたお盆の時期に夏
祭りを行ないました。地区の行事
やあちこちで行なわれるお祭り
もいろいろですが、屋間の室内で安
心して(蚊にも悩まされない)楽
しめるお祭りを、と計画しました。
会場を彩るかき氷にわたあめ、
たこ焼き。食べるばかりではあり
ませんよ!今年は金魚すくい(本
物という訳にはいきませんが...)、
輪投げなども行ない、皆さんに楽
しんで頂きました。

後日には、お
祭りをお楽しみ
いただいた利用
者様から『何年
かぶりに食べて
うまかったな』



近所のものにも教えてやった
よ!』とわたあめなど模擬屋台の
感想を頂きました。

今後とも季節の行事やその時期
ならではの行事を取り入れて、楽
しい時間を過ごして頂ければと
考えております。皆様も是非遊び
にお越しください。



『いちっ・に・さんは、さみず
の郷へ!』毎月1, 2, 3日に見
学会を開催しています。一日体験
も可能です。詳細は、左記までご
連絡下さい。

さみずの郷 (担当:小林)
電話: 253-8882

市民活動コーナ―

秋の古紙回収のお知らせ

日頃は古紙のリサイクルを考
える会へのご協力ありがとうございます。
ざいます。秋の町内回収を左記の
とおり行ないます。

◆回収日 10月9日(金)

※午前8時30分まで(時間厳守)

◆ミックスペーパー(古紙の種類)

広告紙、牛乳パック、ノート、
包装紙、パンフレット、レシ
ト、カレンダー、カタログ、コ
ピー用紙、封筒、はがき、アル
ミ付き紙バック等

古紙回収場所

《西地区》

袖之山: 公民館玄関前
上村: 公民館玄関前
古町: コミュニティセン
野村上: 公民館玄関前
高坂: コミュニティセン
中宿: 倉庫前
横手: コミュニティセン
夏川: コミュニティセン
地蔵久保: 公民館玄関前
東高原: 天狗の館グートボ
北川: ゲートボール場横収

古紙のリサイクルを考える会

坂口: 坂口バス停

《東地区》

平出: 集落センター
福井: 集落センター
坂上: 公民館玄関前
東黒川: 倉庫前
四ツ屋: 資源置き場
栄町: コミュニティセン
番匠: 公民館玄関前
福井団地: コミュニティセン
小玉: 公民館玄関前
牟礼: 公民館玄関前
西黒川: コミュニティセン

◎10月24日のふれあい広場では
牛乳パック10枚お持ちいただい
た方に再生紙のトイレットペ
ーパー又はペーパータオルの交換
を行ないます。

◎回収日には、旧牟礼中央保育園
にて8時30分〜16時まで作業
を行ないますので、直接お持ち
いただいても結構です。

◎お問合せ

古紙のリサイクルを考える会
荒井宅 253-7552
小林宅 253-3064

飯綱町社会福祉協議会 予定【平成27年10月～11月上旬】

月	日	曜日	内容	月	日	曜日	内容
10	6	火	まちサポ養成講座	10	23	金	街中サロン「楽らく」
	7	水	健康寿命講座		24	土	いづなふれあい広場 (飯綱町りんごの里まつり)
	9	金	街中サロン「楽らく」		28	水	わらび会
	19	月	オレシカフェ	11	1	日	秋の空き缶拾いボランティア
	21	水	介護者リフレッシュ				

《自然育児》のススメ

しつけ

子ども達へ「少し先行く先輩」として、暮らしの中で「大切にして欲しいきまりごと」を伝えるのが「しつけ」だと思っています。

そして「靴を揃えること」のような自分で自分の面倒を見る方法や、「あいさつ」のような、調和を保つ他者との関わり方や、善悪や正誤・真贋の見極め方など、日々を気持ち良く過ごすための心掛けや工夫を、なるべく小さい時から身につけて欲しいと願っています。

ある幼児教育学を学んでいる時に「子どもの姿は、大人のありようが決め手になる」という考え方に会いました。つまり「しつけ」のお手本は「身近な家族の暮らし方」なのだそうです。

「身」へんに「美」と書いて「しつけ」と読むんですね。美しい身のこなし。人のありようを期待する漢字です。子どもに理想を言う前に、自分たち大人はどうなのか、今回は（私自身も含めて）自問をおススメした方が良さそうです。

by 唯〇母

飯綱町の事業所紹介

《社協以外の事業所を紹介します》



日々の感謝を込めて

太陽がジリジリと暑い夏が過ぎ、夏が終わると同時に、秋の虫の音が聞こえてくる季節になりました。

サラダスクウェアでも、夏期の草刈作業が一段落して、室内での仕事や、町内の様々なところで行っている清掃作業が仕事の中心になってきました。

先日、駅のトイレ清掃を行っているチームが、うれしそうに顔をして仕事から帰ってきました。話を聴くと「いつもトイレをきれいにしてもらって気持ちがいいわ。今日はトイレに飾るお花を持ってきたの」と声を掛けてくださった方がいたとのこと。そっと見てくださっている方がいること、そして感謝の言葉をいただいたことに清掃スタッフの表情も自信に満ちていました。

SUNは創立して今年10年目の記念の年を迎えています。これまでの間、地域の皆さまに温かく見守っていただき、そして力を貸していただいていることに心より感謝致します。これからも皆さんの身近なSUNになれるよう努力して参ります。

お知らせ・募集

安心・安全なまちづくり活動支援 配分事業の公募について

長野県共同募金会では、皆様からお寄せいただいた共同募金を原資に各区・各組の自主防災組織の活動を支援する目的で防災備品等購入の助成を行っています。

昨年度は飯綱町内から野村上区と古町区が申請し、県共同募金会の審査の結果、両地区とも交付決定を受けました。

町内では、この2地区を含めて8地区で防災備品として、発電機、投光器、拡声器、テント、防災倉庫等が整備されています。

◆公募期間 10月1日～11月13日
(予定)

※ただし、事業は申請した翌年度の実施となります。

◆助成金 一地区一回限り
上限20万円

◆お問合せ 飯綱町社会福祉協議会
電話：253-8456

赤い羽根共同募金は地域のために使われています。

10月1日から赤い羽根共同募金運動が全国一斉に行われます。

飯綱町においても毎年、各地区の組長・区長様のご協力をいただく中で、各戸に募金をお願いしています。

この募金は、町内の福祉活動や福祉施設に配分され、高齢者の昼食会やふ

れあい広場の開催など、数多くの福祉関連事業に使われています。皆様のご協力をお願いいたします。

昨年度(平成26年度)募金実績

3,070,729円

○主な配分金事業

・高齢者関係

高齢者世帯昼食会、高齢者世帯等おせち料理宅配事業、いきいきサロンなど

・障害者関係

SO(スポーツおもしろ)プログラム

児童・青少年関係があたく塾、小中高福祉普及事業など

・住民一般関係

福祉フォーラム、ふれあい広場、社協広報紙発行业など

秋の空き缶拾いボランティアの開催について

力を合わせてよりきれいな町にしよう

この活動は、“住民総ボランティア”と、“不法投棄ゼロの町”を目標に掲げ、各地区及び町内主要幹線道路の清掃を通じて、環境への意識を高めることを目的として取り組んでいます。

◆日時 11月1日(日)
午前8時～午前10時

◆集合場所 飯綱町民会館
第2駐車場

◆収集場所 町内幹線道路沿線

※収集路線は参加者の希望を優先し、集合同所から現場までマイクロバス等で

送迎いたします。

◆持ち物 軍手、火ばさみ(お持ちの方)

◆その他 おやつにパンとお茶が出ます。

◆主催 飯綱町ボランティア連絡会・飯綱町・飯綱町社会福祉協議会

ボランティア活動事例集作成に伴う掲載団体の募集について

飯綱町社会福祉協議会ボランティアセンターでは、ボランティア活動の増進を目的に、町内でボランティアなど住みやすい町づくりのために活動する個人・団体を紹介する冊子を作成します。掲載の希望や広く周知したい個人・団体の活動に関する情報の提供は左記までご連絡ください。

◆対象 町内でボランティア(又は準ずる)活動をする個人及び団体

◆募集期間 11月5日(木)

◆お問合せ 飯綱町ボランティアセンター
電話：253-1001

ふれあい広場(りんごの里まつり)の開催について

毎年、住民の皆様の協力により開催している『ふれあい広場』を、今年は町が開催する『りんごの里まつり』とあわせて開催します。詳しくは、10月中旬の新聞折り込みチラシをお見逃しなく！

◆日時 10月24日(土)

◆会場 午前11時～午後2時
飯綱町民会館ホール

第112回 まちがいがしクイズ解答

答え

「飛行機雲」

「カブトムシ」

「天体望遠鏡の向き」

小林 常治様 / 小林 康子様 / 宮澤 颯人様 /

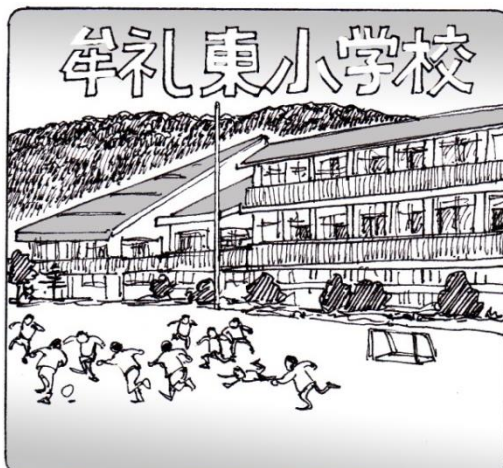
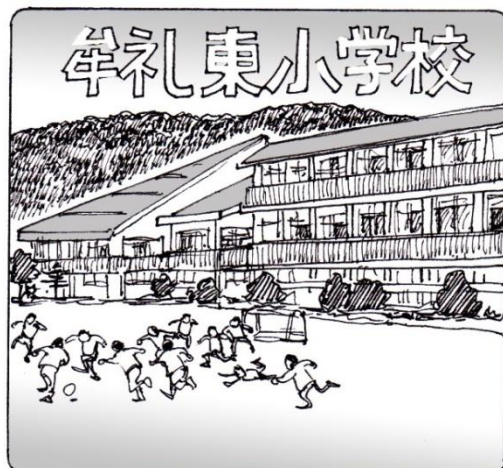
田中 幸子様 / 中村まさ子様

上記の皆様が当選されました。おめでとうございます。

※景品の発送には当選から1～2ヶ月ほどかかります。

Q まちがいさがしクイズ

—第113回— 今月も「まちがいさがしクイズ」に挑戦
正解者の中から5名様に素敵な景品をプレゼント!



※第112回まちがいさがしクイズの答えと当選者の発表は前ページに掲載してあります。

ハガキ表

52

389-1201

飯綱町芋川181

飯綱町社会福祉協議会

「まちがいさがし」

ハガキ裏

- ・こたえ
- ・じゅうしょ
- ・なまえ
- ・でんわばんごう
- ・今月号の感想など

左右の絵を見比べて3つの間違いの答えがわかった方は、左記の要領で記入の上、ご応募ください。社協ホームページクイズ応募フォーム又は社協来所による応募も受け付けております。(町内在住の方に限る) 締切りは、10月14日です。
【消印有効】

新 いしはく 66
こはやしひろみち



日赤社資の訂正
ふれあいぽけっと第
103号2ページに掲載
の日本赤十字社(日
赤)社資について、左記
のとおり訂正します。
坂口区6, 500円
総計1, 477, 480円

匿名
液晶テレビ(32V型)1台
(株)宮澤工務店
家庭用浴槽 1基
地域福祉の推進に活用
させていただきます。あ
りがとうございます。

寄付

りんごのつぶやき
出張の折、学生時代に住んでいた首都圏の某駅前商店街を久し振りに訪ねたが、小さなお店がちやちやと並んでいた駅前通りは駐車場になっ
ていたり、マンションになっていた。20年
も経つとも変わってしまうものか、と淋しさが
こみ上げてきました。飯綱町内でも近所のなじみ
の小さなお店が消えて、淋しさだけでなく不便さ
を感じている方も多いと思います。自家用車があ
れば少し離れたお店に買い物に行けますが、自
家用車も公共交通も何も無いとなるとさあ大変、
これではいくら「お買い物は地元の商店街で」な
どと言われても「買い物難民」はなくなりません。
さあ、どうしたらよいでしょうか?
よくあるのは車のある人にお使いを頼むとか、
FAXやメールで注文すると配達してくれるサー
ビスでしょうか?でも自分の目で確かめて買うこ
とはできないし、外出したい、という方にもこれ
ではダメ、そんな時、以前は移動購買車がその役
目を果たしていたけど、最近あまり見かけません。
そこで車でお買い物に連れて行ってくれる活動に
取り組む地区が県内でも出てきました。「利用した
人はガソリン代の実費を支払う」とルールを決め
てやっているとのこと。また県内のある町では、
地元の商店街がまとまって地区の公会堂へ出張開
店する、という取り組みをしています。出張開
店の日は近所の人が大勢集まり、お祭りみたいに賑
わった、と聞きました。これならお買い物で物を
買うだけではなく、人との出会いも楽しめそう
です。
さあ、皆さんならどんなアイデアが良いと思
いますか?